

		3月	4月	5月	第1四半期	6月	7月	8月	第2四半期	上半期計
既存店	売上高	67.6	39.4	75.9	60.4	100.8	81.8	77.5	86.9	73.2
	客数	64.2	37.5	67.8	55.9	87.5	70.7	71.3	76.0	66.6
	客単価	105.2	105.0	111.9	108.1	115.2	115.7	108.6	114.3	109.9
全店	売上高	63.9	36.4	70.6	56.4	95.1	78.2	75.6	83.3	69.3
	客数	60.4	34.3	62.6	51.8	81.5	67.2	69.8	72.6	62.7
	客単価	105.8	106.1	112.9	109.0	116.6	116.4	108.4	114.7	110.5
店舗数	新店	6	0	2	8	1	0	0	1	9
	退店	3	1	3	7	1	0	5	6	13
	店舗数	374	373	372	372	372	372	367	367	367

		9月	10月	11月	第3四半期	12月	1月	2月	第4四半期	下半期計	年度計
既存店	売上高	90.5			90.5					90.5	74.9
	客数	84.2			84.2					84.2	68.3
	客単価	107.5			107.5					107.5	109.6
全店	売上高	87.9			87.9					87.9	71.0
	客数	81.8			81.8					81.8	64.5
	客単価	107.4			107.4					107.4	110.0
店舗数	新店	0			0					0	9
	退店	2			2					2	15
	店舗数	365			365					365	365

(注) 既存店は出店から14ヶ月経過した店舗であり、対象店舗数は毎月変動いたします。
また、月間に1日も稼動していない店休店舗については既存店の対象外としております。
尚、上記数値は速報値です。本速報は原則として毎月初第2営業日までに発表いたします。
速報数値と確定数値に差異が生じる場合は、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。

概況

当月は、後半から気温が低下し、羽織物などの秋物の需要が高くなり、メンズ・レディースのトレンド性の高いトップスやボトムスが堅調に推移しました。一方で売上構成比の高いジーンズの販売で苦戦しました。キッズについては、買い替え需要が高まり、全体的に好調でした。また、前月に引き続き、マスクは、需要が高く好調に推移しました。

地区別では関東地区が回復傾向にあります。

なお、日曜日が1日少なかったことによる曜日まわりの影響は、既存店前年比において3 p t程度のマイナスと推測されます。

これらの結果、当月の既存店・全店売上高は上記の通りとなりました。

新店

なし

退店

MH S S F 加古川店、MH 宮内店

店舗数

マックハウス：334店

(内、マックハウス グランドアリーナ：1店、マックハウス スーパーストア：12店、マックハウス スーパーストア フューチャー：56店、マックハウス アーバンストア：6店、マックハウス アウトレット：7店)、

マックハウスプラザ：9店、アウトレット J：11店、ブルーベリー：1店、ゴールウェイ：1店、ネイビースタ：1店、ネイビー：8店

合計 365店

MH：マックハウス、MHGA：マックハウス グランドアリーナ、
MHSS：マックハウス スーパーストア、MHSSF：マックハウス スーパーストアフューチャー、
MHUS：マックハウス アーバンストア、MHO：マックハウス アウトレット、
MHP：マックハウスプラザ、OJ：アウトレットJ、BB：ブルーベリー、GW：ゴールウェイ、
NVS：ネイビースタ、NAVY®：ネイビー

その他

第2四半期決算発表は、10月9日(金)を予定しております。

尚、決算発表までの間は業績等に関するご質問にはお答えできませんので、ご了承下さい。